

## 令和2年度 自己評価書

令和3年3月15日

真庭市立八束こども園

園長 山本 久美子 印

### 1. 八束こども園の教育保育目標

#### 保育目標

心身ともにたくましく、心豊かな子どもの育成

#### 保育方針

- ・のびのびと心豊かに意欲をもって生活し、遊びこむことのできる子どもを育む。
- ・粘り強く頑張る力、友達への共感能力、気持ちを切り替える情動コントロールを大切にし、生きる力を育む。

#### めざす子ども像

- ・体を使うこと、大好き！
- ・自分で考えること、大好き！
- ・人とかかわること、大好き！

### 2. 本年度の重点目標

○子ども一人ひとりの育ちを理解し、丁寧に関わり、安心してゆっくり育つ場をつくと共に、心豊かに自ら「気付き、考え、意欲を持って取り組む」ことができるよう保育の専門性と豊かな感性を生かした安全で温かい環境をつくる。

○職員間の連携とかかわりを柔軟にし、チーム力を意識した取り組みや振り返りをする。

○家庭での「早寝・早起き・朝ごはん」を推進するとともに、園での朝の体操やマラソン・リズムジャンプなど季節に応じた運動遊びを継続し、体を動かす楽しさを味わうとともに基礎体力を養う。

○小学校との交流を通して、一人一人の発達を理解していただき、子ども、保護者共に安心して就学に向かえるような連携・接続を行う。

○安心・安全な給食の提供をする。

### 3. 園評価の個別評価

評価指標	考 察	園総合評価
教育課程・指導計画	育みたい資質・能力を理解し、振り返りを大切に工夫することができた。	4
行事	コロナ渦でも工夫したり、見直したりして、子ども達にとって「楽しいこと」を開催できた。	4
組織・運営	職員相互に協力や助言を惜しむことなく、共同できる連携体制ができていた。	4
学級経営	子ども一人一人の発達を理解し、個性や特性に合わせた丁寧な保育を心掛けている。	4
特別支援教育	家庭や関係機関との連携を図り、個々の子どもに応じた指導計画のもと、保育を行っている。	3
安全管理・保健指導	コロナウイルス感染防止に努め、日々の検温・マスク着用・手洗い・消毒の徹底を行った。	4
研修（資質向上）	市内・園内の研修に留まったが、意見を発しやすい環境づくりと思いの共有に努めた。	3
情報提供・保護者・地域との連携	写真だよりで園の様子を新鮮なうちに伝えることができた。個別面談で連携を図った。	3
小学校との接続・連携	園と小学校職員の話し合いの場を持ち、子どもたちが互いに学びあえる交流の場を設けている。	4
子育て支援	保護者が必要とした時に安心して相談のできる関係づくりができています。	4
食育の推進（給食）	野菜作りやクッキングなど年齢に応じた食育に取り組み、食事を楽しむ工夫をしている。	3
食事の提供（調理）	大量調理マニュアルに沿って適切に調理するとともに、子どもに合わせた配慮をしている。	4

### 4. その他必要な評価

評価指標	考 察	園総合評価
組織・運営	クラスを超えて、どこにいても可愛がってもらえるという方針を理解した職員のチームワークを意識できた。	3
組織・運営	楽しくやりがいがあり、自己発揮のできる職場であるために良好な人間関係に努めた。	4

## 5. 本年度の重点目標及び総合的な評価結果の考察等

- 「子どもたちの自主性を大切に、子どもたちの思いを十分に聴き、安心してゆっくり育つ環境をつくる。」をテーマに、個々の育ちや課題（長期・短期）を全職員で確認、共有しながら、一人ひとりに合った援助・かかわりを大切にする温かく丁寧な保育に取り組んできた。園の方針・目標が、保護者へも理解していただけている、という手応えも感じている。
- 「いつでもどこにいても可愛がってもらえる」「職員みんなで子ども達を大きくする」という園全体で育てる保育に取り組んだことが、子どもたちの確実な育ちにつながった。また、チーム力を意識した行事の取り組みや振り返りを通して、園全体で達成感を共有することもでき、保護者の満足感も多く寄せられた。
- 年間を通じての体操やマラソン・リズムジャンプなど季節に応じた運動遊びを継続し、体を動かす楽しさを味わうとともに基礎体力を養うことができた。
- 就学に向けて、園・保護者・小学校3者間共有ができた。就学前でも、子ども達の心の安定を最大の課題とした保育士のかかわりを、保護者へ理解していただけたことが大きな一歩である。
- 乳幼児期にふさわしい食生活が展開されるように考えられた献立と衛生管理を徹底した調理室で、アレルギー対応とともに安全な給食を提供することができた。

## 6. 評価結果を受けての具体的改善方策等

- 引き続き、園の様子をタイムリーに写真だよりで掲示したり、園の方針を細やかにわかりやすく伝えることを続け、保護者としっかりコミュニケーションをとり、信頼関係を構築していく。話しやすい雰囲気作りに努め、話をしっかりと聴き保護者の思いを知り、丁寧な保護者支援を通して、子ども達の成長を後押ししていくことに努める。
- 一人一人の子どもが安定感を持って過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるようにするために、必要なときは関係機関と連携をとりながら、一人一人に応じたかかわりを模索し、子ども達の成長を見守っていく。

(保護者アンケートの結果や園内職員で改善策を話し合ったことなど織り込んで記入する)

園評価基準

評 価	基 準	
4	80%以上の達成度	十分達成されている
3	60%以上80%未満の達成度	概ね達成されている
2	40%以上60%未満の達成度	取り組まれているが、成果が十分でない
1	40%未満の達成度	取り組みが不十分である